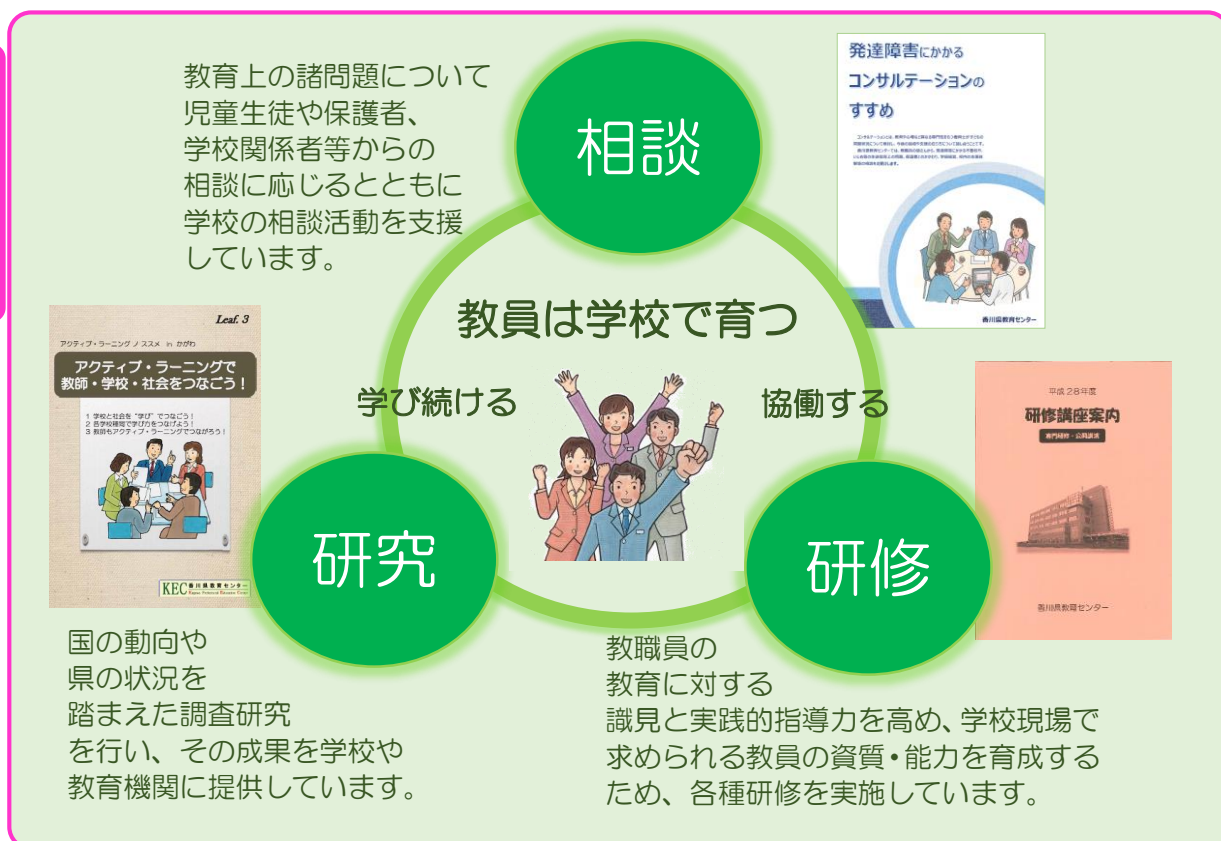


教育センターだより

学び続ける教員、協働する教員 を教育センターは支援しています。
まずは、お気軽にお問合せください。

事業概要



ご挨拶



エンパワメント

所長 藤井 浩史



教育センターの門を入ったところに、昨年の移転の際に植えたシバザクラが誇らしげに花を咲かせました。施肥、灌水、除草などの手入れにより、小さかった一つ一つの株が、自分の力で養分や水分を吸収し、立派に育ったのです。

当センターの使命は、研究・研修・相談が教職員のみなさんの養分や水分となり、学校や教職員が本来持ちうる力を十分に発揮できるようにすること、これを「エンパワメント」と呼び、その支援を所属目標に掲げました。

協力学校の実践を通じたアクティブ・ラーニングやICTの研究、受講者が主体的・協働的に取り組めるアクティブ・ラーニング型研修、学校や教職員の相談活動を支援するコンサルテーション、研究団体等への施設開放事業など、**学び続ける教員、協働する教員**への支援を積極的に行ってまいります。

現場にとって身近で頼りになる存在として、今年度も香川県教育センターをよろしくお願いいたします。

香川県教育センターの調査研究をご活用ください。

平成 28 年度 調査研究事業

今年度、教育センターが取り組む研究テーマです。



調査研究 1 アクティブ・ラーニングによる授業の質的転換に関する調査研究（2 年次）

国や県の教育課題を踏まえ、小・中・高等学校、特別支援学校における主体的・協働的に学ぶ学習の充実に向けた指導方法等について研究し、香川県教育センター協力学校（高松市立十河小学校、高松市立牟礼小学校、綾川町立綾上小学校、高松市立協和中学校、観音寺市立観音寺中学校、香川県立高松北高等学校、香川県立丸亀高等学校）の実践事例を通して、その効果的な方策を提案します。

調査研究 2 協働的な学習における ICT の活用に関する調査研究（1 年次）

児童生徒同士による学び合い活動において、タブレット PC や電子黒板等の ICT を活用した学習方法について研究するとともに、香川県教育センター協力学校（善通寺市立竜川小学校、小豆島町立小豆島中学校、香川県立高瀬高等学校）の実践事例をもとに、その効果的な活用について提案します。

調査研究 3 全国学力・学習状況調査及び香川県学習状況調査の結果分析

全国学力・学習状況調査及び香川県学習状況調査の結果を詳細に分析し、そこからうかがえる香川県の児童生徒や学校、教職員にとっての課題を提示するとともに、改善の方向性を提案します。

◆研究発表会◆

平成 29 年 2 月 17 日（金）



（平成 27 年度 研究発表会の様子）

平成 27 年度 研究発表会

発表 1 「全国学力・学習状況調査及び香川県学習状況調査の結果分析」

学習状況調査の結果を分析し、本県の重点課題とされている「学習意欲」「自尊意識等」にかかわる質問紙調査結果について、どのような経年変化をしているのかを示し、本県の課題と改善の方向性を提案しました。

講演 「学習指導要領改訂の方向性ーアクティブ・ラーニングの実現に向けてー」

文部科学省初等中等教育局視学官 田村 学 先生

現行の学習指導要領の構造自体を転換する、抜本的な改訂と、高等学校教育、大学教育及びそれらを接続する大学入学者選抜の一体的改革について分かりやすくお話しくさしました。

参会者からは、「明日からの授業が楽しみになりました。今、挑戦している授業スタイルを、さらに工夫していきたいと思います。（高等学校教諭）」等の感想がありました。



発表 2 「学校におけるタブレット PC の活用に関する調査研究」

学習効果を高めるタブレット PC の活用について、無線 LAN などの ICT 環境の整備や教員の ICT 活用指導力向上のための校内研修の方法等を提案しました。また、研究成果報告書を作成し、学校に配付及び Web サイトに掲載しています。校内研修等で御活用ください。



発表 3 「アクティブ・ラーニングによる授業の質的転換に関する調査研究」

学習指導要領改訂のキーワードとなる「アクティブ・ラーニング」による授業について、先進的に取り組んでいる学校の実践事例等を通して、小・中・高等学校別に主体的・協働的に学ぶ学習の充実に向けた指導方法等について、提案しました。参考となるリーフレット 1～3 及び資料を Web サイトに掲載していますので、ご活用ください。



子ども・保護者支援に悩んだら、教育センターへご相談ください！

教育センターの相談窓口

教育センターでは、子どもや保護者、教職員からの学校教育、家庭教育に関する悩みの相談に応じています。以下の相談窓口をご活用ください。保護者にも、ぜひご紹介ください。

電話相談

子ども電話相談

087-813-3119 (子ども専用)

* 相談時間 9:00～21:00 (通年)

子育て電話相談

087-813-2040

* 相談時間 9:00～21:00 (通年)

24 時間いじめ 電話相談 (24 時間子供 SOS ダイヤル)

087-813-1620

0120-0-78310

* 相談時間 24 時間(通年)

子どものネットトラブル相談

087-813-3850

* 相談時間 月～金曜日 (祝日・年末年始を除く)
9:00～17:00



来所相談

087-813-0945 (予約受付)

* 相談時間 月～金曜日 (祝日・年末年始を除く)
9:00～17:00
第2、4土曜日(祝日・年末年始を除く)
13:00～17:00

メール相談

kesoudan@kagawa-edu.jp

FAX 相談

087-881-3272

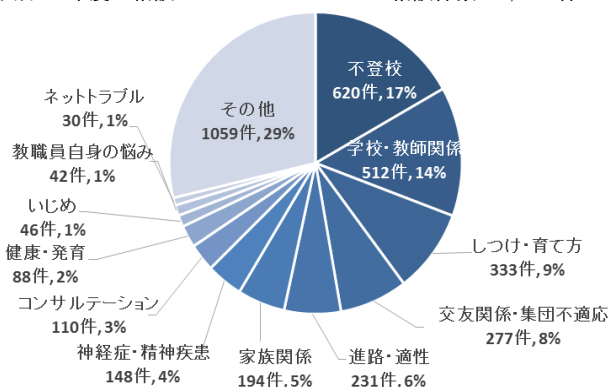
コンサルテーション

087-813-0945 (教育相談課)

平成 27 年度相談概況

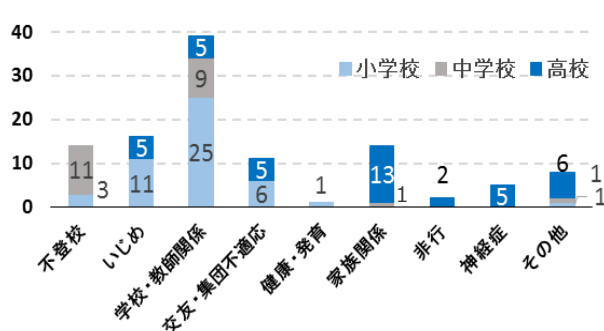
平成 27 年度の相談

相談件数 3,690 件



平成 27 年度のコンサルテーション

件数 110 件



1 来所相談が3割増加

- 電話、来所、メール、FAX による全相談件数は3,690 件でした。
- 来所相談件数は1,047 件。相談室や相談時間の拡充に伴い、昨年度の約 1.3 倍となりました
- 全相談のうち、「しつけ・育て方」の相談は333 件で、平成 26 年度の約 1.8 倍となりました。

2 発達障害が背景にある悩み相談が増加

- 来所相談のうち、発達障害を背景にしていると考えられるものは2割を超えています。
- 相談内容は、育て方、学習や進路、交友関係等多様化しています。

3 教職員に対するコンサルテーションが110 件

- 対象は管理職が59%、学級担任が24%でした。
- 健康や神経症に関する問題では、医師や臨床心理士から専門的助言を受けました。
- いじめに関する問題には、校内のいじめ防止対策委員会に参加し、協議しました。
- 発達障害が背景にある問題では、児童生徒を見立て、校内支援委員会に参加して個別の支援計画作成の助言を行いました。



今年度の教育センターの事業をご紹介します。

平成 28 年度 公 開 講 演

関係研修の受講の有無にかかわらず聴講できます。
詳しくは『研修講座案内』又は Web サイトをご覧ください。

期 日	演 題	講 師（敬称略）
5/12(木)	『アクティブ・ラーニング』のねらいと指導法	東京大学大学総合教育研究センター 教授 白水 始
5/19(木)	特 別 支 援 教 育 の 制 度 に つ い て	香川大学 教育学部 准教授 小方 朋子
6/ 3(金)	子どもたちのネット利用について	久里浜医療センター 心理療法士 北湯口 孝
7/22(金)	学校現場の法的リスク管理－訴訟事例から学ぶ法的責任の理論と対策－	金沢大学法科大学院 教授（弁護士） 野坂 佳生
7/26(火)	キ ャ リ ア 教 育 の 在 り 方	国立教育政策研究所 総括研究官 長田 徹
8/ 1(月)	気になる子どもの気付きと支援の在り方－困り感に対応したかわりとは－	さぬき市発達障害早期支援コーディネーター 三谷 清子
8/ 4(木)	学 校 組 織 マ ネ ジ メ ン ト	国土舘大学 体育学部 教授 北神 正行
8/ 5(金)	生徒指導－いじめの問題から子どもの今を考える－	大津市教育委員会 教育長 桶谷 守
8/ 5(金)	発達障害のある子どもへの支援について－社会性を育む支援の在り方－	鳴門教育大学大学院 学校教育研究科 教授 井上とも子
8/22(月)	“教師の4ぢから”を高めて信頼される教師を目指そう	文教大学 教育学部 教授 会沢 信彦
9/ 6(火)	幼 児 期 の 特 別 支 援 教 育	香川大学 教育学部 教授 坂井 聡
9/13(火)	子どもたちのネット利用について	久里浜医療センター 精神保健福祉士 前園 真毅
11/17(木)	特 別 支 援 教 育 （ 発 達 障 害 ）	香川大学 教育学部 教授 坂井 聡
1/ 6(金)	食 育 推 進 の 現 状 と 課 題	（株）オフィス弁当の日 代表取締役 竹下 和男

カリキュラムセンター事業

◆ 研修サポート

指導主事を派遣し、各学校の研究テーマや課題に沿った指導や助言、研修支援を行います。
（平成 27 年度実績：406 件）

◆ 研究相談

教育実践上の諸問題等について、来所や電話、メール等により教職員からの相談に応じます。
（平成 27 年度実績：229 件）

◆ 教育ライブラリー

〔所蔵資料〕（平成 27 年度末現在）

- ・教育図書 14,161 冊
- ・研究紀要・論文等 15,158 点
- ・教育雑誌 24 種類
- ・視聴覚資料
- ・各社の教科書 他

〔閲覧・貸出等〕

- ・開室時間 9:00～17:00（月～金）
9:00～16:00（土）
（ただし、土曜日は原則として 13:00～14:00 開室）
- ・貸出冊数 1 回につき 5 冊まで
- ・貸出期間 15 日間

◆ Web サイト

学習指導案など、教育活動に役立つ資料を収集し、情報提供します。

◆ 学校教育力向上支援事業（さぬき学びの支援隊）

退職教職員を小・中学校に派遣し、教職員の資質・能力の向上に向けた支援を行います。

平成 27 年度実績：
支援隊登録者数 190 人
派遣校数 104 校
派遣時間総数 8,417 時間

◆ 学校教育指導委員（スクールアドバイザー）の派遣

栄養指導、保健指導、学校事務等に優れた教職員を小・中学校等に派遣して、適切なアドバイスを行います。
（平成 27 年度実績：5 件）

◆ 施設開放

県内の教職員団体やグループに対して、その自主的研修や調査研究の場として、研修室を無料で貸し出します。

・貸出時間 9:00～16:30（月～土）
（平成 27 年度実績：65 団体 2,642 人）

◆ インターネットによる学校支援

インターネットで各学校と教育センターとを結ぶ香川県情報教育支援サービスを通じ、様々な教育情報や各種サービスを提供します。